

テーマ型協働推進事業に対するコメント概要

事業名	「防災福祉地域サポーター」養成事業					
実施団体名	今治市防災士会					
協働団体	①今治市連合自治会 ②今治市民生児童委員協議会 ③今治市福祉政策課					
テーマ提示課 テーマ	防災危機管理課 地域ディフェンスカアップ！！ ～助け合いの防災コミュニティ～					
事業概要	<p>【事業目的】 南海トラフ地震発災時に、避難行動に支援がいる住民に身近な地域がサポートできるような街づくりを日常活動からサポートしていく地域人材を育成していく。</p> <p>【事業内容】 (1)南海トラフ巨大地震新想定などのハザードや避難支援行動・避難経路・被災生活・避難所運営講座の実施 ①8月31日(日)13:30第2回目「防災福祉地域サポーター養成事業」(岡村眞先生) ②10月13日(月)9:00第3回目「防災福祉地域サポーター養成事業」グループワーク ③1月18日(日)13:30第4回目「防災福祉地域サポーター養成事業」災害支援マインド (2)災害避難所への避難行動・避難所開設・運営の現地訓練 ①9月6日(土)7日(日)「防災福祉地域サポーター養成事業」暑熱寒冷対策避難所開設運営研修(立花小学校で1泊2日) (3)「防災福祉地域サポーター」養成の必要性と地震災害事前対策の啓発活動 ①2月7日(土)愛媛県防災危機管理課主催「まなぼうさい」出展</p>					
補助額	市補助額	251,000 円	総事業額	359,671 円	補助対象経費	359,671 円
コ メ ン ト	実施団体	<p><事業を実施しての効果> (1)「防災福祉地域サポーター」育成の仕組みを作り、年年サポーターを育成していく仕組みができた。 (2)日常的な地域の見守りや支援が必要な住民への地域福祉サービスの展開が理解できた。 (3)発災時にはいち早く地域からの自主的な避難支援行動が展開し人的被害を最小限に抑える計画推進の学びが広がった。</p> <p><事業を実施しての問題点> (1)自治会の理解と協力を十分に得られなかった。 (2)民児協、社協年間計画に反映されない臨時募集となった。</p> <p><問題点に対する解決策> (1)令和8年度「防災福祉地域サポーター」育成計画の早期策定。 (2)市民参画課、連合自治会との協働体制の構築。</p>				

テーマ型協働推進事業に対するコメント概要

事業名	「防災福祉地域サポーター」養成事業	
実施団体名	今治市防災士会	
コメント	市民活動推進委員	<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に体育館に泊まる（避難する）ことで、夏場等時期によっては向かないことも分かった。高齢化も課題となっている。若い方がいない。どう増やしていくか。 ・情報発信は課題。続けていくことで知ってもらう機会となる。 ・今後の事業展開の方法、参加者の募集、各自治会への協力が不可欠であると思った。引き続き今後も地道に続けていくということで、市政の協力も必要な部分もあると思う。 ・市、各地区の防災組織、自治会、防災士会、防災福祉サポーターの分担、役割の全体を統括するのはどこか、連携が取れるのか疑問が残る。自治会の協力を得る対策がない。 ・防災の今治市の課題が浮き彫りになった。市民の意識を上げていくのも課題を感じた。知っていただくことが大事。 ・自治会で防災サポーターと協力して今後発展したらいいと思う。地道に活動されるということで取り組まれており良い。 ・今後発生が予想されている南海トラフ巨大地震に対しての活動として、とても価値のある取り組みだと思うが、参加者の確保に苦勞されている点を何とかクリアして、ぜひ引き続き防災力アップに向けて地道に頑張ってください。 ・災害時の対応は多岐にわたる。これらを継続することの難しさ、初動対応の重要性から住民への周知、訓練の継続的な実施が不可欠であり、今後のさらなる活躍を期待します。
	テーマ提示課	<p><総評></p> <p>この事業は、サポーターが「教わる側」から「地域を支える主役」へと成長し、維持可能な地域防災の基盤となり互助による地域のディフェンス力の強化につながるものである。</p>